

2018年2月8日

しまねソフト研究開発センターの先駆的研究「mruby/c」 安定版 ver1.0 を進化させた「mruby/c ver1.1」を公開

島根県松江市学園南1-2-1 くにびきメッセ4F
公益財団法人しまね産業振興財団
しまねソフト研究開発センター 担当：徳田
連絡先：0852-61-2225
e-mail：itoc@s-itoc.jp

しまねソフト研究開発センター（ITOC）と国立大学法人九州工業大学が共同研究開発を行っているIoT 小型端末向け組み込みプログラミング言語「mruby/c」について、現在の安定版 ver1.0 から進化させた ver1.1 を公開しました。

今回、進化させたことで、小さなマイコンでもこれまでより大きなプログラムを実行できるようになり、また前バージョンに比べて開発生産性の向上が期待できるようになりました

今後は、更なる開発に取り組むとともに「mruby/c」を広く県内企業に紹介し、関心を持つ企業との共同研究などを進めていくことで、県内企業の競争力強化につながる取り組みを行って参ります。

◆ mruby/c ver1.1 公開 Web サイト

http://www.s-itoc.jp/report/reaserch_results/727

◆ mruby/c ver1.1

- * Proc クラスの実装
- * sprintf メソッドの実装
- * class メソッドの実装
- * String, Range, Proc クラスのガベージコレクション対応
- * StringObject ヘバイナリの格納対応
- * Ruby によるクラスの定義とインスタンスメソッドの定義を実装
- * C言語によるクラスの定義とインスタンスメソッドの定義を実装
- * 排他制御として Mutex クラスを実装

◆ mruby/c とは

Ruby の特徴である開発生産性の高さを引き継ぎつつ、プログラム実行時に必要なメモリ消費量が従来の mruby（組み込み向け軽量 Ruby）より少ないソフトウェアの開発言語です。

センサーネットワークや、ウェアラブルなどの小型端末に向けたソフトウェア開発に向いています。